

GX産業の集積に向けた道の取組について

令和7年(2025年)6月11日

北海道 ゼロカーボン推進監 田中 仁

【プロフィール】

- 1995年に北海道庁入庁。
- 地域振興や観光振興などに従事した後、2019年には総合政策部新幹線推進室長として新幹線延伸を担当。
- その後、地域行政局長として道内市町村の振興のほか、総務部人事局長として道庁組織の人事等を担当。
- 2022年より渡島総合振興局長。
- 2024年4月にゼロカーボン推進監に着任し、ゼロカーボンやGXの推進に従事。

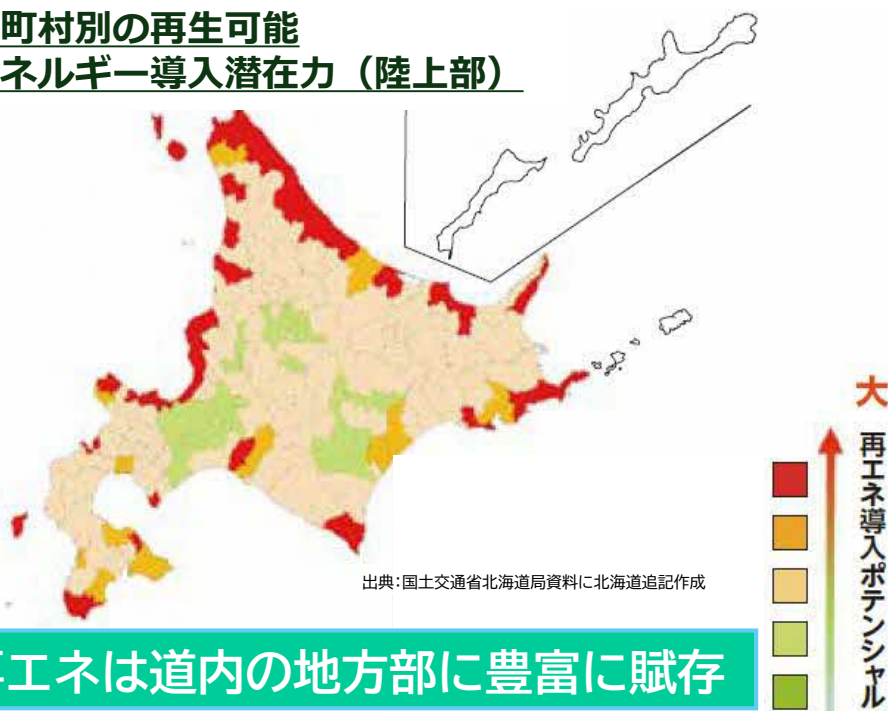
豊富な再生可能エネルギーと本道の目指す姿

再エネポテンシャルの高さ

再生可能エネルギーの導入ポテンシャルは
全国随一

太陽光発電 ポテンシャル	風力発電 ポテンシャル	中小水力発電 ポテンシャル	地熱発電 ポテンシャル
全国 1 位	全国 1 位	全国 1 位	全国 2 位

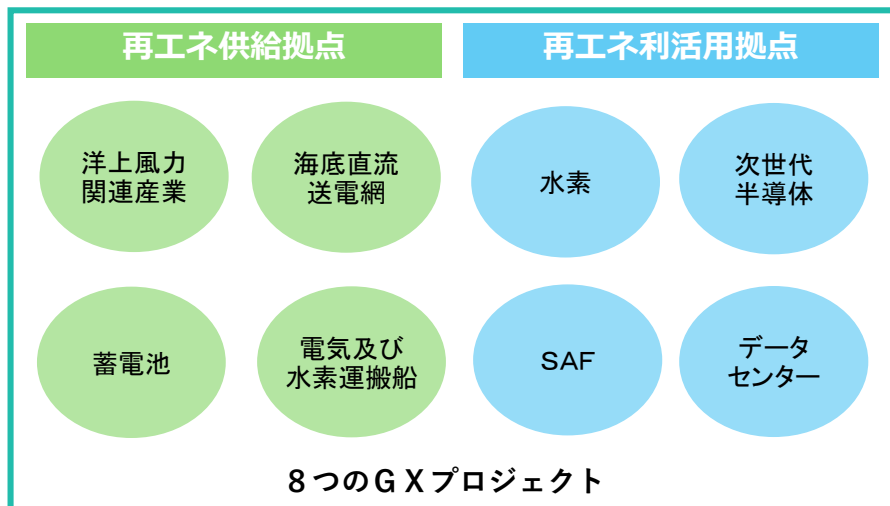
市町村別の再生可能 エネルギー導入潜在力（陸上部）



再エネは道内の地方部に豊富に賦存

本道の目指す姿

再エネが豊富な地域にGX産業を集積
「再エネ供給拠点」+「再エネ利活用拠点」としての役割を果たす



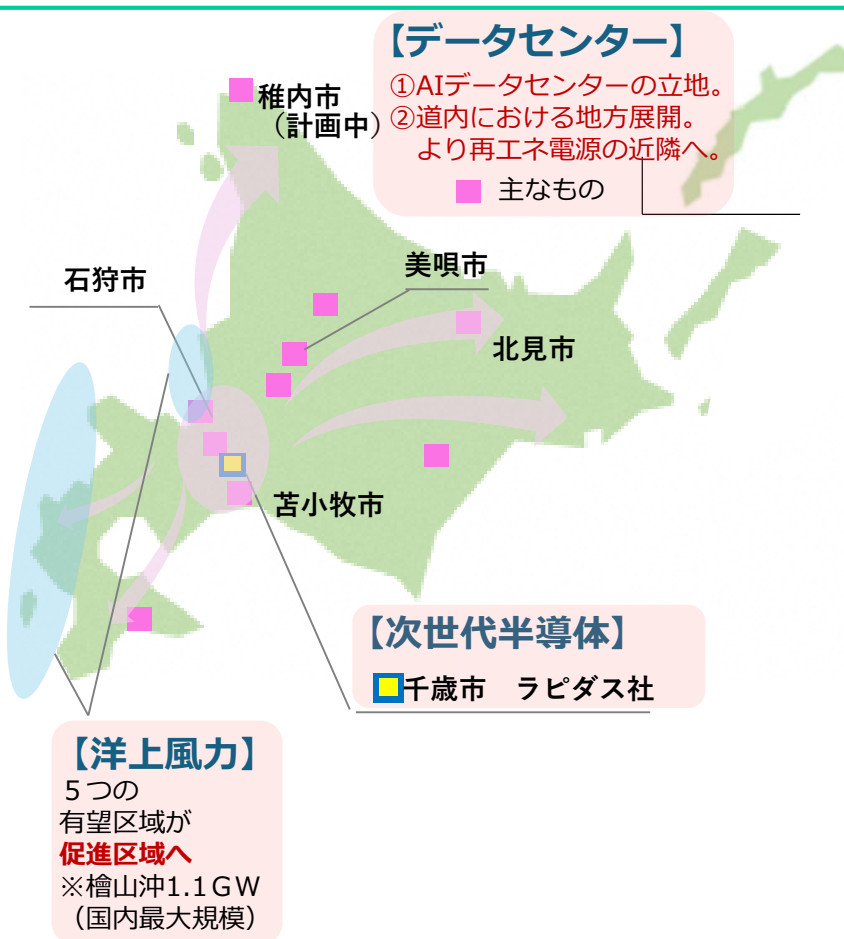
北海道内の温室効果ガス排出量を

2030年度までに **48%削減**

2050年までに **実質ゼロ**

とする「ゼロカーボン北海道」の実現を目指します

道内で進むGXプロジェクト



※上記以外の進行中のGXプロジェクト

- ・北海道・本州間海底直流ケーブル
- ・CCS (苫小牧市)
- ・水素・アンモニア製造実証 (苫小牧市、千歳市)

道の主な取組

北海道GX推進税制

令和7年4月から、GX事業と、道内の再エネを活用しようとするGX事業に投資を呼び込む資産運用業やフィンテック事業を対象とした道税・札幌市税の課税の特例制度「GX推進税制」をスタート

北海道企業立地助成制度

令和7年4月から、GX関連産業の誘致に向け、助成限度額の引き上げや対象事業を拡充

新エネルギー地域導入支援事業 等

新エネルギーにおける地域の多様なニーズに対応するため、構想・計画段階から設備導入段階までの各段階に応じて総合的に支援

【主な事業】

- 新エネルギー導入促進支援事業
- 新エネルギー設計／設備導入支援事業
- ゼロカーボン・モビリティ導入支援事業
- ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業
- ゼロカーボン・イノベーション導入支援事業 等